

記録映画

いのちの作法

～沢内「生命行政」を継ぐ者たち～

小池征人監督作品

昭和30年代に、豪雪・貧困・多病・多死の三重苦を乗り越え、全国に先駆けて老人医療費の無償化と乳児死亡率ゼロを達成した岩手県西和賀町(旧沢内村)は、合併した現在も、いのちを大切にするという「生命尊重の理念」を町是に掲げる、日本では稀有の品格と哲学を持った町です。

「住民の生命を守るために、私の命をかけよう」と宣言した当時の深沢晟(まさ)雄村長と、住民が共に築き上げたその理念は、若い世代にも脈々と受け継がれています。本作品は、深沢晟雄村長についての証言に始まり、その理念を受け継ぐ若い世代を映し出します。老人や障害者、そして児童養護施設の子供たちの生命に向き合いながら、地域に生きることを模索している西和賀町の人々の姿は、私たち日本人に、改めて本当に価値のあるものを教えてくれます。

「いのちの作法」自主上映協力をお願い

私達は去年の暮れに東京で記録映画『いのちの作法』を見てきました。岩手県の北上市の西、奥羽山脈の麓にある西和賀町(旧沢内村)に住む人たちの日々の暮らしを描いたドキュメンタリー映画です。昭和30年代に”生命尊重の理念”をかかげ、老人医療の無人化、乳児死亡率ゼロを達成するなどの業績をあげて注目された村だそうです。その理念を引き継ぐ地域ぐるみの取り組みを活写した作品です。

この作品を見て、『このような暮らしと人々が居たんだ』と胸が熱くなりました。今、日々の暮らしの中で私達が忘れかけている大切なものが、この映画の中にあるような気がして、これは是非多くの人に見てもらいたい！と強く思いました。

それで今自主上映にむけて、1歩を踏み出そうと思っています。

上映に向けて力を貸していただけたらとてもうれしいです。

(風路)

(上映予定です) 長坂コミュニティホール 2009年7月5日(日)

時間 午後1時半会場・2時開始位の予定(要確認)

料金 前売り券1000円 当日券1200円 小中学生500円

お問い合わせ 風路(0551-36-3826)